

JavaScript レポート課題

課題 1

- 以下のようなJSONデータ（問題文や選択肢は各自考えよ）から、クイズのプログラムを作成せよ.
- 選択肢の数は固定でも良い.
- CSSを利用してデザインも工夫せよ.
- ヒント：
 - 下記のJSONがquestion変数に格納されている時、問題文と選択肢1は、以下のように取得できる
 - question[“問題文”] => “イギリスの首都はどこ？”
 - question[“選択肢”][0] => “ワシントン”

```
{  
    “問題文” : “イギリスの首都はどこ？”,  
    “選択肢” : [“ワシントン”, “ロンドン”, “ニューデリー”],  
    “正解番号” : 2  
}
```

課題 1 (発展版)

- 以下の点も考慮できるとなお良い
 - 複数問題をJSONデータに記載し、「次の問題ボタン」を押した際に、動的に次の問題を提示できるようにする
 - 選択肢の数を動的に変更できるようにする
 - エラー処理
 - など

課題2

- tableタグを利用してカレンダーを作成せよ
 - 1週間分のみも可
- 日と予定をテキストボックスから入力して，登録ボタンを押すと，該当するカレンダーのセルに予定を表示できるようにせよ
- CSSを利用してデザインも工夫せよ

カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5 授業	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日： 予定：

カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5 授業	6	7

日： 予定：

課題2 (発展版)

- 年月を指定してカレンダーの表示を切り替えられるようにする
- 予定の種類によって、色を変更できるようにする
- 登録したテキストを削除ボタンにより削除できるようにする
- など

レポート作成要領

- 締切： **2018年7月23日(月) 23:59**
- 提出先： keio.jp (授業支援)
- 以下のファイルをzipファイルにまとめて圧縮して提出
 - Wordファイル(レポート本文)
2~3枚程度, ファイル名「学籍番号_氏名_JS演習.docx」
 - report-ex1.html, report-ex1.js, report-ex1.css
 - report-ex2.html, report-ex2.js, report-ex2.css
- レポート記載項目
 - 作成したJavaScriptの解説
 - HTML, CSS, JavaScriptを書く上で工夫した点
 - 感想
- 注意
 - **機能性・技術性・デザイン性・工夫した点を評価します**
 - **発展版に取り組んでいる場合には高く評価します**